

スマートフォンについて

私たちが普段使っているこの便利で頼りになるスマートフォンはどのようにして作られているのか、また、どのような進化を遂げて今のようなハイテクな機械になったのかについて考えていこう。

1. 携帯電話の歴史

そもそも携帯電話は今から約80年前の1940年にアメリカのモトローラ社によって作られました。そこから50年ほどたち、1987年に携帯電話サービスが開始されました。そして、1990年代になると端末の普及が進み、本体にも液晶のディスプレイが搭載され始めた。1999年にはインターネットへの接続が可能となり、通信速度が向上し、ゲームなどの利用が可能になった。

2000年代になると第3世代携帯電話（3G）が登場した。そして、パソコンと接続して高速なデータ通信がおこなえるようになったほか、テレビ電話が可能になった。

2007年からはついにスマートフォン時代に入った。2007年から携帯情報端末（PDA）がさらに進化し、パソコンとの差異が処理能力などの差だけとなった。2010からは各キャリアからAndroidを搭載したスマートフォンの発売が相次ぎ、一般ユーザーからのスマートフォンに対する関心を集め、爆発的な普及が始まった。

2010年代には、3Gの張って何系でさらに高速となった第4世代携帯電話（4G）サービスが始まった。

そして、2019年には、第五世代携帯電話（5G）サービスの運用が局所的に始まった。

2.スマートフォンの普及

スマートフォンは2008年に初めて iPhone が発売されたが、当時は爪先で押せないなどキーボードレスのタッチパネル端末に不満の声が寄せられていた。また、日本の携帯電話では絵文字が一般的だったのに絵文字がないや赤外線通信機能がない、ワンセグがないといった理由で否定する人も多かった。

しかし、今は多種多様なアプリや、4G、5Gなどの開発によりスマートフォンブームを引き起こしている。

特に、ライン、ついったーなどのコミュニケーションツールの存在によるスマートフォンの普及が大きな理由だろう。また、写真を撮影し、好みのトーンにエディットして投稿できる Instagram のようなアプリも、あえてパソコンからは利用できない仕様ゆえ、そのコミュニティに属したいという人も多くいる。

また、スマートフォンブームのせいで雑誌が売れなくなった、テレビの視聴率が下がったという報道がされた。意図としては、スマートフォ

ンが暇つぶしのアイテムとなり接触時間を占有し、同じく暇つぶしとしての雑誌やテレビ番組の価値が下がったのではと考えられる。

そして、パソコン用のサイトにアクセスしやすかったことから、ビジネスシーンでも活用されるようになっていき、手元の端末ですべての情報を受け取ることができる時代になった。